

環境 【74事業、約166億2千万円】

(1) 再生可エネルギーの導入と普及、地域エネルギーマネジメント機能を実装した

低炭素街区の形成・普及

北九州スマートコミュニティ創造関連事業

(予算額：458,065千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2238)

国の「次世代エネルギー・社会システム実証事業」に選定された「北九州スマートコミュニティ創造事業」を推進するもの。平成24年度は、平成23年度までに開発・導入した地域エネルギーマネジメントシステムやスマートメーター等を稼働させ、ダイナミックプライシング等の実証を本格的に開始する。併せて、実証地域内の環境整備を行い、積極的に広報・PR活動を実施する。

平成24年度の総事業費は、民間企業による投資及び国の補助金等を含め、約30億円となっている。

ゼロ・カーボン先進街区形成推進事業

(予算額：350,000千円 担当課 建築都市局区画整理課 582-2469)

小倉北区域野地区において、様々な低炭素技術・方策を総合的に取り入れて、ゼロ・カーボンを目指した先進の住宅街区を整備するため、土地区画整理事業による基盤整備(施行主体であるUR都市機構への補助金)や、まちづくり等に係る検討及び啓発・PR活動などを行う。

環境産業融資

(予算額：2,005,270千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2630)

市内において環境・エネルギーに関する設備投資を行う企業等に対し、必要な資金を融資することにより、北九州市経済の振興と低炭素社会づくりの両立を図る。

先導的低炭素化技術拠点形成事業

(予算額：94,718千円 担当課 産業経済局新産業振興課 582-2905)

『先導的低炭素化技術研究戦略指針』に基づき、低炭素化に資する研究開発に重点的に取り組む。

環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金

(予算額：1,000,000千円 担当課 産業経済局誘致課 582-2065)

低炭素社会の実現に不可欠な、温室効果ガスの削減に貢献する技術開発、または製品製造に取り組む企業の本市への集積を促すため、対象企業に対し助成金を交付するもの。

新規エコスクールモデル事業

(予算額：50,000千円 担当課 教育委員会施設課 582-2361)

学校施設の暑さ対策に有効であると考えられるグリーンカーテン等の導入について、モデル事業を実施し、効果を検証する。

また、太陽光発電設備未設置校等に、薄膜太陽光発電設備を設置する。

(2) 環境にやさしい交通体系の構築

自転車利用環境の向上

(予算額：515,000 千円 担当課 建設局道路維持課 582-2274)

(予算額：91,800 千円 担当課 建築都市局都市交通政策課 582-2518)

歩行者・自転車・自動車の通行分離による、安全で快適な自転車通行空間の整備や様々な需要に応じた利便性の高い駐輪環境の創出、手軽に利用できるコミュニティサイクルの利用促進を進め、環境負荷の少ない自転車の利用を促進し、低炭素型のまちづくりを推進する。

公用車における低公害車普及事業

(予算額：43,867 千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2239)

(予算額：1,185 千円 担当課 水道局経営企画課 582-3141)

市民や企業への電気自動車等の普及を促進するために、市が率先して公用車への導入を図る。平成24年度は、33台を導入するとともに、その一部を活用したカーシェアリングを行う。

国際RORR航路誘致事業

(予算額：20,000 千円 担当課 港湾空港局物流振興課 321-5941)

国際競争力を支える輸送モードとして企業ニーズが高く、アジアとのシームレス物流を実現するために必要な国際RORR船の航路誘致に取り組む。

モーダルシフト推進補助事業

(予算額：10,000 千円 担当課 港湾空港局物流振興課 321-5941)

北九州港を利用したモーダルシフト輸送に対して補助金を交付することで、運輸・物流部門でのCO2削減を推進するとともに、北九州港の利用促進を図る。

(3) 戦略的環境国際協力

環境国際協力推進事業

(予算額：20,043 千円 担当課 環境局環境国際戦略課 582-3804)

アジア環境都市機構を活用し、本市の世界的な知名度の更なる向上を図り、環境首都の実現を目指す。

新規経済協力開発機構(OECD)グリーンシティプログラム推進事業

(予算額：10,000 千円 担当課 環境局環境国際戦略課 582-3804)

経済協力開発機構(OECD)グリーンシティプログラムのモデル都市として、「世界の環境首都」の都市ブランド構築を目指す。

(4) まちの森プロジェクト～都市と自然の共生を目指したまちづくり～

新規まちの森プロジェクト推進事業

(予算額：48,000 千円 担当課 財政局財産活用推進課 582-2007)

(予算額：30,000 千円 担当課 建設局緑政課 582-2466)

(予算額：10,000 千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2239)

環境未来都市にふさわしい都市と自然の共生を目指したまちづくりを図る。未利用市有地や公園の一部を苗木の育成や花壇・菜園などに活用し、街なかの緑の増加や世代間交流の促進を図る。また、市民の記念日に苗木の配布を行い、市民による植樹活動を推進する。

響灘ビオトープ整備運営事業

(予算額：1,407,200 千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2239)

(予算額：120,000 千円 担当課 港湾空港局整備部整備課 321-5975)

北九州市生物多様性戦略の主要施策の一つ「響灘・鳥がさえずる緑の回廊による響灘埋立地の緑の創成」に関する取り組みとして、自然創成の拠点となるビオトープの周辺緑地を整備する。また、今年秋の本格オープンに向けた施設の維持管理・運営及び用地取得を行う。

八幡東田グリーングリッド事業

(予算額： 3,000 千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2239)

(予算額：550,000 千円 担当課 建設局道路計画課 582-3888)

(予算額：130,000 千円 担当課 建設局緑政課 582-2466)

八幡東区東田地区では、スマートコミュニティ創造事業など、最先端の低炭素なまちづくりが進められており、その中で、グリーングリッド事業として、これにふさわしい質の高い緑を創出し、CO₂の削減などを図る。

(5) 豊かな自然を活用した環境人材育成

E S D活動支援事業

(予算額：15,000 千円 担当課 環境局環境学習課 582-2784)

世界的規模で進められている「持続可能な開発のための教育」を北九州 E S D 協議会を中心に各種団体と連携し、普及啓発活動を推進。平成 26 年に行われる「E S D の 10 年・最終年会合」に向けた準備も行う。

(6) 北九州資源リサイクル拠点の形成

北九州エコタウン事業

(予算額：79,611 千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2630)

エコタウン事業の推進及び支援等を行う。

環境未来技術開発助成事業<レアメタル関連>

(予算額：85,500 千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2630)

本市への環境技術の集積や環境産業の技術力の強化を図るため、先進的かつ実現性の高い環境技術に関する研究開発を支援する。

レアメタル（リチウムイオン電池）リユース・リサイクル拠点形成事業

（予算額：5,000千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2630）

使用済み車載リチウムイオン電池のリユース・リサイクル技術の開発や回収のための社会システムの構築を目的として、研究会の運営、情報交換や基礎研究、市場性や経済性の調査などを行う。

新規循環型社会を形成するための環づくり支援事業

（予算額：2,700千円 担当課 環境局循環社会推進課 582-2187）

家庭ごみの約半分を占める生ごみについて、「北九州市循環型社会形成推進基本計画」に基づき、水切りの推進やリデュースクッキング講座の開催など、市民一人ひとりが取り組むことができる減量化・資源化の促進を図る。

超高齢化対応 【73事業、約62億4千万円】

(1) 地域連携による健康の維持・向上

生活習慣病予防及び重症化予防

(予算額：55,250千円 担当課 保健福祉局健康推進課 582-2018)

生活習慣病の予備軍を早期に把握し、効果的な保健指導を行うことで生活習慣病を予防するとともに、すでに腎臓機能の低下がみられる方の重症化を防止するための慢性腎臓病予防連携システムを継続して運用する。

市民センターを拠点とした健康づくり事業(地域でGO!GO!健康づくり)

(予算額：15,191千円 担当課 保健福祉局健康推進課 582-2018)

市民センター等を拠点として、住民が主体となった健康づくり事業を実施する。目標・プログラムの設定、実践、事業評価をまち協、行政、医師会等が連携して行う。〔H23：97校区、H24：113校区(予定)〕

要介護高齢者の食を支える口腔ケア対策事業

(予算額：2,500千円 担当課 保健福祉局健康推進課 582-2018)

要介護高齢者の口腔健康状態の維持・向上のため、介護関係者を対象とした口腔ケア等の研修会を開催する。また、要介護高齢者やその家族、介護・医療関係者等に対する啓発活動を行う。

(2) 救急医療体制、リハビリテーション体制の充実

夜間・休日初期救急医療確保対策事業

(予算額：85,492千円 担当課 保健福祉局地域医療課 582-2678)

夜間や休日の急なケガや病気に対応するため、北九州市医師会をはじめとする関係機関との連携のもと初期救急医療体制の維持・確保を図るとともに、看護師による医療相談などを行うテレフォンセンターの利用を促進し、適正受診等の推進に取り組む。

眼科・耳鼻咽喉科救急医療体制整備事業

(予算額：45,800千円 担当課 保健福祉局地域医療課 582-2678)

眼科、耳鼻咽喉科について、夜間の救急患者に対応するため協力病院(眼科11病院、耳鼻咽喉科10病院)の輪番制による診療を行う。なお、土曜、休日は夜間・休日急患センターで実施する。

新規第2夜間・休日急患センター移転整備事業

(予算額：309,000千円 担当課 保健福祉局地域医療課 582-2678)

第2夜間・休日急患センターが担う初期救急医療機能を維持するため、第2夜間・休日急患センターのコムシティへの移転に向けて必要な整備を行う。

(3) 障害児者の先進的リハビリテーションの充実

新規総合療育センター再整備検討事業

(予算額：11,000 千円 担当課 保健福祉局障害福祉課 582-2424)

障害児の療育及び医療の中核施設である総合療育センターの再整備の検討を行う。

(4) 健康で元気な高齢者をつくる多世代交流事業

新規まちの森プロジェクト推進事業 (再掲)

(予算額：48,000 千円 担当課 財政局財産活用推進課 582-2007)

(予算額：30,000 千円 担当課 建設局緑政課 582-2466)

(予算額：10,000 千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2239)

環境未来都市にふさわしい都市と自然の共生を目指したまちづくりを図る。未利用市有地や公園の一部を苗木の育成や花壇・菜園などに活用し、街なかの緑の増加や世代間交流の促進を図る。また、市民の記念日に苗木の配布を行い、市民による植樹活動を推進する。

年長者研修大学校及び北九州穴生ドーム運営事業

(予算額：158,865 千円 担当課 保健福祉局高齢者支援課 582-2407)

年長者研修大学校では、高齢者の生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに、地域活動の担い手となる人材の育成を推進する。また、高齢者をはじめとした市民の健康づくりなどを行う北九州穴生ドームを運営する。

新規高齢者いきがい活動支援事業

(予算額：4,000 千円 担当課 保健福祉局高齢者支援課 582-2407)

高齢者の社会貢献やいきがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア活動、生涯学習活動、仲間づくりなどの情報の収集・提供を行う。

(5) 地域福祉ネットワーク北九州モデルの充実・強化

いのちをつなぐネットワーク事業

(予算額：14,250 千円 担当課 保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課 582-2060)

支援を必要としている人を地域住民と行政とが一体となって見守り、必要なサービスへとつなぐ「いのちをつなぐネットワーク事業」をさらに推進するため、企業等の連携を強めるなどネットワークの充実を図る。

保健・医療・福祉・地域連携システムの推進

(予算額：10,610 千円

担当課 保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課 582-2060)

子どもから高齢者まで誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、各区の「保健・医療・福祉・地域連携推進協議会」による「地域福

社のネットワーク」づくりを支援する。

地域包括支援センター運営事業

(予算額 : 563,651 千円

担当課 保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課 582-2060)

地域における高齢者のための保健・医療・福祉の総合相談窓口として地域包括支援センターを運営し、権利擁護・虐待への対応、認知症対策、介護予防ケアマネジメント、地域包括ケアネットワークの構築等に取り組む。

総合的な認知症対策推進事業

(予算額 : 15,193 千円 担当課 保健福祉局高齢者支援課 582-2407)

予防から早期発見・早期対応・ケア・家族支援までの総合的な認知症ケアの充実・強化を図るため、GPSを利用した徘徊高齢者等位置探索サービスの普及・拡大、若年性認知症対策の推進、医療・介護・地域の連携強化のためのコーディネーターの配置等に取り組む。

(6) 住民主体の健康づくりの推進

健康マイレージ事業

(予算額 : 61,104 千円 担当課 保健福祉局健康推進課 582-2018)

生涯を通じた健康づくりを推進するため、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進する。また、さらに身近で参加しやすい事業となるよう、地域が主体となった仕組みを展開する。

公園を活用した健康づくり

(予算額 : 22,500 千円 担当課 建設局緑政課 582-2466)

(予算額 : 4,528 千円 担当課 保健福祉局健康推進課 582-2018)

医学・運動学の観点から新たな健康遊具を開発するとともに、効果的な遊具配置を行うことで、高齢者が日常的に健康づくりを行える公園を整備する。

また、遊具の適切な利用法や運動方法を学ぶ健康づくり教室を開催するなど、身近な公園を活用した市民の継続的な健康づくり活動を支援する。

百万人の介護予防事業

(予算額 : 24,500 千円 担当課 保健福祉局健康推進課 582-2018)

本市が開発したひまわりタイチーやきたきゅう体操を通して介護予防の普及啓発を図るとともに、高齢者が身近な地域で自主的に健康づくりに取り組めるよう、普及員等の人材育成を図り、自主グループ活動を支援する。

(7) 障害者相談支援体制の整備と地域支援

新たな障害者相談支援体制整備事業

(予算額 : 122,200 千円 担当課 保健福祉局障害福祉課 582-2424)

ウエルとばた内に基幹相談支援センターを設置し、地域で安心して生活できるよう障害のある人の利便性に配慮した相談支援体制を再構築する。

また、平成 24 年 10 月から施行される「障害者虐待防止法」の円滑実施を図るため、障害者虐待防止センターを設置する。

障害者就労支援センター事業

(予算額 : 28,448 千円 担当課 保健福祉局障害福祉課 582-2424)

障害のある人が働くことを通じて社会に参加し、地域で自立することができるよう、企業・福祉・教育等の関係機関が連携し、総合的な支援拠点として運営する。

(8) " 北九州 " 「元気発進！子どもプラン」の推進

子育てに優しいまちづくり推進事業

(予算額 : 5,800 千円 担当課 子ども家庭局子育て支援課 582-2410)

地域ぐるみで子育てを支える取り組みを進めるため、小学校単位を基本に、市民センター等を拠点とした子育て支援活動を促進する。

「子育てふれあい交流プラザ」、「子どもの館」の運営

(予算額 : 413,931 千円 担当課 子ども家庭局子ども家庭政策課 582-2550)

子どもの豊かな感性や創造力を育み、子育て中の親が持つ負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援施設として、「子育てふれあい交流プラザ」、「子どもの館」の運営を行う。

子ども・若者応援センター「YELL」の運営

(予算額 : 23,200 千円 担当課 子ども家庭局青少年課 582-2392)

子ども・若者の育成や支援に関する相談に応じることや関係機関の紹介、必要な情報提供や助言等を行う総合相談やコーディネート機能を持つ『子ども・若者応援センター「YELL」』の運営を行う。

(9) 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」の推進

環境教育推進事業

(予算額 : 23,000 千円 担当課 教育委員会指導第一課 582-2367)

本市の環境施設や自然を体験的に学ぶ「(仮称) 北九州市環境キャラバン」を実施し、あらゆる環境活動に主体的に取り組むことができる子どもリーダーの育成を図る。また、学校のユネスコスクールへの登録を支援するなど、環境教育の発展を目指す。

スクールヘルパーの充実

(予算額 : 78,621 千円 担当課 教育委員会指導企画課 582-2367)

スクールヘルパーについて、ブックヘルパーや学校支援地域本部で実施する環境ボランティア、教員サポートなどにより、活動範囲を拡大するとともに、大学生、

企業などのボランティアの協力も得ながら制度の充実を図る。

新規経済界と連携した学校教育の充実

(予算額 : 2,260 千円 担当課 教育委員会企画課 582-2357)

経済界と連携することで企業の持つ教育資産を「子どもの教育」に有効活用する。

平成24年度はモデル校で取り組み、その結果を踏まえ、全小学校への拡大を検討する。

(1 0) 小児医療・周産期医療体制の充実

小児医療先進都市づくり事業

(予算額 : 3,030 千円 担当課 保健福祉局地域医療課 582-2678)

「北九州地域医療体制あり方専門委員会」の答申を踏まえ、小児医療体制の充実を図る。予防啓発活動、関係者による会議等を実施する。

未熟児・新生児救急医療体制整備事業

(予算額 : 19,040 千円 担当課 保健福祉局地域医療課 582-2678)

市内医療機関で出生し、緊急転院を必要とする未熟児・新生児に対して集中治療室のある4病院(市立医療センター、産業医科大学病院、国立小倉医療センター、九州厚生年金病院)の輪番制により、迅速かつ適切な医療を確保する。

(1 1) 北九州環境みらい学習システム(ESD)

北九州環境みらい学習システム推進事業

(予算額 : 20,000 千円 担当課 環境局環境学習課 582-2784)

市内の環境学習施設等を連携させ、多世代が総合的に学べるような環境学習システムを推進。環境情報の提供やエコツアーの充実等に加え、環境学習の系統立てた整理や総合窓口のあり方について検討を行う。

(1) 震災被災地復興支援

東日本大震災復興支援事業

(予算額：82,000 千円 担当課 総務企画局総務課 582-2102)

岩手県釜石市役所内に設置した「北九州市・釜石デスク」を活用しながら、主に釜石市を中心に本市の特徴や強みを活かした被災地支援を引き続き行う。

(2) ディジタルリカバリ拠点の形成

北九州 e-PORT 構想の推進

(予算額：21,079 千円 担当課 産業経済局新産業振興課 582-2905)

情報産業の振興に取り組み、ディジタルリカバリ拠点としてデータセンター等の集積を図る。

(3) アジア低炭素化センター

アジア低炭素化センター推進関連事業

(予算額：157,850 千円 担当課 環境局アジア低炭素化センター 662-4020)

環境モデル都市に掲げた温室効果ガス削減目標を達成するために、平成22年6月に開設された「アジア低炭素化センター」の事業を推進し、アジア地域へ低炭素化技術を輸出することで、地域経済の活性化を進める。

新規グリーンシティ輸出のための北九州モデル構築事業

(予算額：30,000 千円 担当課 環境局アジア低炭素化センター 662-4020)

本市が持つ環境技術など、環境配慮型都市づくりに必要な知見を体系的に整理して知識の集約化(=マニュアル化)を図り、グリーンシティ北九州モデルを構築する。

(4) 官民連携による海外水ビジネスの展開

海外水ビジネスの推進事業

(予算額：54,569 千円 担当課 水道局経営企画課 582-3111)

(予算額：74,249 千円 担当課 建設局水環境課 582-2491)

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、官民の技術やノウハウを結集し、カンボジア、中国・大連市、ベトナム・ハイフォン市等を対象として、具体的なビジネス案件形成活動を積極的に展開する。

(5) 北九州スマートコミュニティ創造事業の海外ビジネス展開**新規**次世代型社会インフラオペレーションシステムの輸出モデル構築

(予算額：50,000 千円 担当課 環境局環境未来都市推進室 582-2238)

スマートコミュニティの運営ノウハウをパッケージ化した輸出モデルの構築を検討する。

～ 全体支援事業 【5事業、約6千万円】

新規市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業

(予算額：10,000千円 担当課 市民文化スポーツ局地域振興課 582-2111)

「北九州市環境未来都市」の推進に貢献する市民活動団体等に対して、その活動を支援する。

環境未来都市・国際戦略総合特区推進事業

(予算額：24,000千円 担当課 総務企画局政策調整課 582-2156)

「北九州市環境未来都市」及び「グリーンアジア国際戦略総合特区」について地域協議会などの運営を行い、規制改革などに関して国との調整・協議を進める。

新規環境未来都市・国際戦略総合特区普及・PR事業

(予算額：20,000千円 担当課 総務企画局政策調整課 582-2156)

「北九州市環境未来都市」及び「グリーンアジア国際戦略総合特区」について、市民や企業の自発的な行動を促進し、全市一体となって環境未来都市等の実現を目指すために、市内外で効果的にPRする。

新規環境未来都市広報事業

(予算額：24,000千円 担当課 環境局環境学習課 582-2784)

環境未来都市の選定を機に、本市の環境の取組みを広く市民に広報し、浸透を図る。イベント等での環境マスコットキャラクターを活用したプロモーション活動や、北九州空港、小倉駅など市の玄関口でPRを行う。